

# 土岐市

## 織部の里公園への誘い



土岐市長 加藤 靖也

400年前の桃山時代、美濃地域は日本最大の施釉陶器生産地でした。「大窯」「連房式登窯」と呼ばれる地上式の窯は、当時の技術の粋を極めたもので、ここで生産された黄瀬戸、志野、織部といった優れた陶器は全国へと出荷されました。

土岐市泉町久尻にある元屋敷窯は、美濃地域最古の連房式登窯で、当時の姿をよく留めており、その重要性から昭和42年に国指定史跡となりました。織部の里公園は、この元屋敷窯周辺を「歩く」「見る」「触れる」ことで、美濃桃山陶への理解を深め、楽しむための公園です。

織部の里公園整備の第1期工事では、元屋敷窯の保全と展示ができるよう屋根を設け、公園北部には、茶室「暮雪庵」を移設し、気楽に粘土をこね作陶を体験できるよう「創陶園」を設置しました。

また第2期工事は、緑豊かな自然の中で、懐かしい田園風景、そして水辺を彩る植栽を中心に四季折々の自然を体験していただけるよう近隣公園として整備をし、本年6月に完成しました。

織部の里公園でやきもの文化にふれ、田園風景を楽しみながら、のどかなひと時をお過ごしください。

土岐市は古くより国道19号と21号の交通の要衝として、また近年では、中央自動車道と東海環状自動車道の結節点として発展をし、平成25年に五斗蒔スマートインターチェンジが完成しますと、この公園はますます便利で利用しやすくなります。土岐市にお越しの際には、桃山の古を感じることもできる「織部の里」公園においでいただきますよう誘い申し上げます。また、その際には年間400万人を超える来訪者がある「土岐プレミアムアウトレット」や、2つの道の駅「どんぶり会館」、「志野・織部」にもお立ち寄りいただきますよう、ご案内を申し上げます。